

各会計に対する各会派の賛否

会 計	結 果	自 民	自・無	公 明	共 産	品 改	ネ ッ ト
一般会計	可決	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	賛成
国民健康保険事業会計	可決	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	反対
後期高齢者医療特別会計	可決	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	賛成
介護保険特別会計	可決	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	賛成
災害復旧特別会計	可決	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成

令和2年度予算に対する 各会派の意見表明

※各会派から提出されたものを原文のとおり掲載しています。

日本共産党品川区議団

安倍政権による消費税10%、そして新型コロナウイルスの影響で急激な景気悪化。今でも貧しい社会保障や年金の改悪が続くなど、暮らしと営業が脅かされています。今こそ地方自治の発揮で、区民生活を支える区政への転換が必要です。以下、問題点を指摘し要望します。
▼特養ホームと老健施設の合計整備率は、東京23区で品川区は23位といまだ最低。緊急の増設計画を▼施設が足りず区外の障害者施設利用者が300人弱。開設支援の強化を▼認可保育園入所は2次募集でも1217人が不承諾通知。新たな認可園の開設、園庭と保育の質の確

保を▼羽田新ルートについて濱野区長に「なぜ計画中止を求めないのか」と再三質問したが、区長は最後まで答弁に立ちませんでした。羽田新ルートの中止を国に求めるべき▼国保料と後期高齢者保険料の引き下げ▼特定整備路線29号線、28号線、放射2号線や超高層再開発の中止▼新型コロナウイルス対策について、国に検査体制の強化、病棟の確保、財政措置。経済対策として消費税5%減税を求めること。また子どもの学びと居場所、高齢者の健康づくり支援。所得補償を含めた緊急の経済と暮らし支援へ、早期に十分な補正予算を組むこと。

品川改革連合

品川区一般会計、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療・介護保険・災害復旧の3つの特別会計の各予算に賛成します。今年度も区民税と財調が増え続け盤石な財政基盤をつくり上げています。さて米中貿易戦争により国民生活や企業経営に厳しさが広がり消費が落ちていた所に、消費増税、気候温暖化の影響で景気は一段と悪化していましたが、さらに加えて新型コロナウイルス感染の世界的蔓延は、国民の命と健康、家計や企業経営に甚大な損失を与えています。感染拡大はすべての国民に恐怖と不自由な暮らしをもたらし、中小零細企業は売上げ

の急落で運転資金が不足して、休業、廃業や倒産が増えています。そして企業のリストラにより、勤労者は労働時間が減ったり雇用を喪失したりして、所得は激減し国民の暮らしは悪化の一途をたどっています。人類にとって非常事態である今は感染拡大を回避し、区民と職員等の命と健康を守る対策を最優先し、これが終息するまでの間、蓄積してきた基金を使って、区民が安心して暮らせるように生活支援をすると共に、中小零細企業が存続し再起出来るように、そして雇用や働く場が残るように、資金繰り支援や経済対策を実施して頂きたい。

品川・生活者ネットワーク

国保会計について、保険料のこれ以上の上昇は皆保険制度の崩壊につながりかねず反対です。
新型コロナウイルス対策について、様々な弱い立場にある人たちの影響が懸念されます。自治体ならではのきめ細やかな視点での対応を求めます。また、今回の経験を今後活かせるよう、検証と記録を要望します。
高齢者・障がい児者福祉・こども若者施策すべてに関わる問題としてケア者支援策が進むことを求めます。そのためにケア者実態把握を早急に進めてください。
コミュニティバス導入、区庁舎の建て替えなど、まち

づくり施策には早い段階での区民への情報公開と、議論へ参加できる場が保証されることが必要です。これら以外にもまちづくりには区民参加を求めます。
区立保育園、小・中学校の給食の放射能検査の継続を求めます。放射能に限らず、化学物質問題全般に対して予防原則をもって対応することを要望します。
羽田新ルート問題は国の政策ですが、区民の命にかかわる自治体政策につながります。自治体の役割として区民の立場に立って公に主張することを求めます。今からでも計画の中止を国に対して求めるべきです。

品川区議会自民党

令和2年度品川区各会計予算に賛成します。
区は過去最大規模となる予算を編成しました。
歳入では特別区民税が伸びる一方、法人住民税の国税化、ふるさと納税による流出の影響が増大しています。
歳出では東京2020大会の開催、レガシー創出、新庁舎建設の機能検討、児童相談所の開設準備、子ども家庭支援センターの組織化、保育需要への対応等、未来への道筋を描く施策や、防災対策の充実、水辺の利活用、区民の健康増進、高齢者・障害者福祉の充実、学校改築、コミュニティバスの導入等が予算化されています。

これらは地域の皆様や各種団体から頂いた声をもとにした施策であり、総括質疑や款別審査での要望、提案と併せて着実に事業実施されることを要望します。
最後に、適切な新型コロナウイルス対策をとり、感染拡大を防ぎ、区民の生命を守り、安全安心なまちづくりを目指さなくてはなりません。しかし、中小企業、商店、飲食店等深刻な影響が出ています。融資や助成金、商品券拡大、屋形船・イベント支援等、区内事業者や区民全員を救うという覚悟をもって活力を取り戻すため、基金を活用して迅速かつ的確に実施することを強く求めます。

自民・無所属・子ども未来

品川区議会自民・無所属・子ども未来は、令和2年度一般会計、同国民健康保険事業会計、同後期高齢者医療特別会計、同介護保険特別会計、同災害復旧特別会計の各歳入歳出予算の全てについて賛成いたします。
当予算は、10年後の区の将来像を具現化する新長期基本計画をスタートする為の予算、弛まぬ行政改革の下に培われた基金等の財政力を活用し一般会計予算を前年度比プラス0.3%となる1883億2500万円とし、区が直面する課題を積極的に解決すべく編成されました。一方、昨年10月の消費税増税による景気悪化や新型コロナウイルス

による肺炎流行とWHOによる世界的大流行「パンデミック」の表明、2020オリンピック、パラリンピック開催への懸念など、区政を取り巻く社会的、経済的環境は、一層、混沌の度合いを強め課題を解決する上で大きな障害になっていると考えます。品川区に於いては、このような社会経済状況の大きな変化や予測不可能な事柄を的確に捉え区政運営に努められる事を期待します。
予算審査で各議員が行った提案、提言が十分に事業執行に反映され、更なる区民福祉の向上が図られることを望み意見表明とします。

品川区議会公明党

一般会計歳入は、税制改正の影響による減の一方、特別区民税34億円増などとなり、歳出は福祉に充てる民生費が前年度比2.6%増の伸び等で予算額は1883億円となり、インフルエンザ予防接種助成の幼児対象拡大を始め、がん対策、学校・避難所空調、防災アプリ、学校・公園等トイレ洋式・安全化、子ども交通安全、障がい者グループホーム、認知症やフレイル予防、舟運活性化・橋梁ライトアップ、特別支援教育等の充実が図られました。
課題として指摘をしている空き家活用、高齢者等が入居を拒まれない居住施策、医療的ケア支援、手話言語条

例制定、多胎児家庭支援、SDGs及びプログラミング教育、受動喫煙防止対策等は着実な具体化を求めます。
新型コロナウイルス感染症対策では、区民生活・経済活動への支援と回復に向け、①マスク・消毒液の備蓄と福祉施設・医療機関への配布。②検査等含めた相談体制等の整備・拡充。③小中学生の学習支援の充実。④各種生活資金支援策に該当しない方への家計支援。⑤中小企業・商店へのプレミアム付商品券含めた経営支援及び相談体制の拡充、を緊急要望します。早急に的確な施策展開と補正予算の策定を求めます。